

微生物の力で微生物層＋物理性改善!!

好嫌気性複合微生物資材

「コフナ」

コフナ農法普及協議会

大豆をはじめとするマメ科の作物を安定して栽培するためには、

- ①排水性が高い
- ②微生物層が豊かである
- ③作土層が深い

ことで栽培の安定化、品質収量の向上に繋がっております。堆肥等の施用だけでも物理性、微生物性は改善していくもののコフナに含まれるさまざま

の3点が挙げられます。コフナは、黒大豆から小豆、インゲンなどマメ科の作物に使用が広がってきております。

また微生物(低温、高温好気性、嫌気性条件など)が土壌のさまざまな環境下で活発に増殖し、有機物を腐植化し早期に土壌改良を図ります。

特に先に挙げた条件により、コフナ単独での使用より、堆肥や有機質を含む肥料と合わせて使う

特に物理性の改善を進めるために豆連作の場合であれば、収穫終了後で

きるだけ早期にコフナを

堆肥などの有機質と共に散布し、前作の残根も含めて微生物の力で腐植化

させます。時間が長ければ長いほど、土壌の深い

ところにもで入った根を分解腐植化することがで

きるので、できるだけ早期の散布をお勧めしてお

ります。堆肥等の有機物を投入できない地域では

栽培体系に緑肥を投入し、すき込み時にコフナ

を入れる事例もあります

ので、栽培に合わせてご使用ください。詳細な内容については左記まで

▼コフナ農法普及協議会事務局

〒140-0002 東京都品川区東

品川2の2の20の3 二

チモウ(株)内。

TEL03(347500)

4369。FAX03

(347500) 43229。

URL=http://w

ww.cofuna.jp

Eメール=info@ww

w.cofuna.jp

